個人成果報告

渡邉真弓

C3　チームにんじん戦線

# 6月WEBアプリ開発コースを経て成長したこと

1. 技術的知識

何も知らなかった状態から用語と流れについて少し理解できるようになりました。

1. コミュニケーション

意思疎通がしやすいように語順・話す順番を考えるようになりました。また、友人ではない相手への尊敬を忘れないよう意識していました。

# 5月を終えたころに感じた課題

抽象的な概念を具体的な観点で理解するのが非常に難しかったです。

例えば、継承はなぜ行われるのか理解してもコードとして書く際にどうすれば継承ができるのか理解できませんでした。また、ファイルを見ても何が何を継承しているかまでは理解できてもその後の処理で何を追加されているか理解できていませんでした。

そのため、6月では実際のコードでどのような処理が行われているのか、ブロック単位と一行単位で見ていこうと考えました。

# 6月の各フェイズで重要だと理解したこと

**要件定義**

・認識のすり合わせ

理由：相手の思っていることと自分の思っていることに違いが生じていることが多かったからです。頻出単語の語彙の意味を合わせなければ、言葉で説明するほど言葉が独り歩きしてしまう問題が発生します。

解決策

①システム用語リスト：頻出単語をまとめて一つにしました。逐一参照することですれ違いを防ぎました

**外部設計＋内部設計**

・質と速度のバランス

理由：どこまで突き詰めて決めるかの認識が合わなければ終わらなくなるからです。実際に予定より進捗が遅くなったことがありました。

解決策

中期目標の設定：仮でいいから中期目標を設定しました。

**実装工程**

・スケジュール管理

理由：納期があるからです。日ごとの目標は立てていたのですが、全体を見た際に納期に間に合うか否かが曖昧な状態に陥りかけました。

解決策

1. 工程全体の確認：全体の作業量の大まかな見積もりができるようになりました。
2. 中期目標の決定：作業進展の把握、作業の具体的な割り振りを簡単にすることができました
3. 進捗管理：全員の進捗具合を見て、工程全体の大まかな見積もりで把握できなかった難しい処理やタスクの再配分ができるようになりました。研修においては、他のメンバーの理解度を知ることで相談等がしやすくなる効果もあります。

# 7月以降の目標

真摯な姿勢で頑張っていきたいです

渡邉の思う真摯な姿勢とは

1. 分からない事を適切に解決する

自分で考えた上で質問をする

分からない事は放置しない

1. 意思疎通をしっかりする

わかっているつもりでわかっていない事は多い

何を考えているか・何が分かっていないかを噛み砕いて説明する

分かりやすい語順・数字・形式を考える

肯定文を使う(否定形を使わない)こと、能動態を使う等の明確な文章化、短文で聞き取りやすくする

現場ではメモや直接の対話のどちらがいいかも考える

1. できなくてもともとの態度

知ったかぶりは誰のためにもならないから、分からないことは素直に聞く

分かったつもりになっても、分かっていないつもりでメモを取り振り返る

復唱して確認する